

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

学校名	白石町立北明小学校
-----	-----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度
評価結果の概要

「めあてに向かって自分の見通しをもち、解決の糸口を探る」の試行錯誤を探るような児童を育てるために手立を話し合った。多様な考えを比較・検討させることで児童の思考をつなぐファシリテーターとしての役割や価値付けを図る方法、学級経営について改善策を実践している。91%の児童が「自分の考えを伝えられた」と回答しており、今後実施を希望している児童は10%の効果を挙げ、今年以上に伸ばして推進した。政策的に取り組んだ児童は99%、教職員のIT活用率は73%から94%と向上した。提示用資料の活用による「視覚的な情報の促進」に加え、学習支援ソフトを用いた「意見の即時共有など、対話的な学びを支えるツール」での定着を図り、今後も、学習効率と定着度を高める授業改善を継続する。

・人権教育や「思いやりの活動を通じ、98%の児童が「思いやりの心」を実感している。「ほかほかの木」活動による他者からの価値付けが効果的であった。また、食育（99%）や防災意識（98%）の向上も顕著であり、自分や他者の生命に大に意識が育まれている。

・Q-10結果を活用する研修や子どもの気になっている行動について考える研修などを実施し、支援を要する児童が学習に見通しをもてるような手立などを考える機会とした。毎月1日「児童学習行事」の会議の時間を設け、全職員で指導の状況に関する共通理解を深めた。教職員の88%が体制に手応えを感じており、個に応じたきめ細かな支援が組織として機能している。

・教育活動の充実を図る一方で、教職員の自身の健康保持に向けた勤務時間の適正化に努めた。今年度は人員が1名減少したことで、一人に係る負担は増加している。「150周年記念行事」の実施に伴う準備時間の確保が必要な時期もあった。業務の精査により、時間外勤務は月平均20時間前後で推移した。現状の勤務改善が改善できるよう、今後とも教職員間の連携や効率的な校務運営を推進し、地域・保護者から一層信頼される学校づくりに邁進する。

2 学校教育目標	「人とつながり 思いやりを広げ 志をもって学び続ける北明っ子の育成」 ◇ かしくく(知): 確かな学力・自分で考える力 ◇ やさしく(徳): しなやかに人と関わる力を培う ◇ たくましく(体): 健康で元気な心身を育む	
----------	--	--

3 本年度の重点目標	○自分の考えをもち、友達や教師との対話を通して、新たな考え方に気付いたり、自分の考えを深めたりできるような学習指導の在り方を探る。生き生きと学習に取り組み、自分の考えや思いを伝え合い、学び合う児童の育成。 ○人と協調し、人を思いやる心の育成○人と関わる力の育成○感謝する心と学校や郷土を愛する心の育成 ○望ましい健康生活の習慣化、学校体育の推進○食育の推進と性教育の実施○防犯・安全教育の推進○特別支援教育、教育相談の充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○(学校独自重点取組) 学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○(学校独自成果指標) 「授業中は自分の考えをもち、友達に伝えることができた。」と回答した児童90%以上	・自治能力を高めるために、全教科半分以上の教科において「話し合う活動」を設定する。	・	・	・	・	・	○学力向上コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「心のアンケート」を実施し、肯定的な意見が85%以上になる。	・「心のアンケート」を月に一回実施し、意欲を高める。 ・「ふわふわの木」や「いいところ見つけの木」を使い、優しい言葉遣いや、お互いを認め合う心を育てる。	・	・	・	・	・	○人権・同和教育 道徳推進教員	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等のための取組、事実対処等)」について組織的対応ができる」と回答した職員90%以上	・毎月心の心のアンケートや、教育相談週間の実施、Q-Uにより児童の実態把握に努め、情報共有と早期発見を図る。 ・いじめの対応についての研修・会議を長期休業中および随時行う。	・	・	・	・	・	○教育相談 生徒指導主任	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・様々な場面で、児童の良さを賞賛し、児童の良さを生かした活動に取り組ませる。 ・キャリアパスポートの活用や様々な学習活動を通して、目標やめあてを立て、ふりかえることにより、自分自身の成長を感じられるようにする。	・	・	・	・	・	○こころプロジェクト	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○かがやく北明っ子アンケートの「早寝・早起き・朝ごはんができた。」について肯定的な回答をした児童85%以上 ○かがやく北明っ子アンケートの「休み時間に友達と元気に体を動かして遊んだ。」について肯定的な回答をした児童80%以上	・すこやかチェックの結果や、日頃の早寝・早起き・朝ごはんに関連する児童の様子を、月に1回通信や学校メールで保護者に知らせる。 ・早寝・早起き・朝ごはんの大切さについて考える時間を、各学級の実態に合わせて、学期に1回取り組む。 ・すこやか委員会の活動で、20分休みや昼休みにできるような各月のおすすめスポーツを紹介する。	・	・	・	・	・	○いのちプロジェクト 食育担当	
	○安全に関する資質・能力の育成	○「校内で安全に気を付けて生活できた(廊下歩行や雨の日の過ごし方)」と回答した児童80%以上」 ○「避難訓練において、自分で考えて行動できた」と回答した児童90%以上	・廊下に立れを置いたり、職員による声掛けを徹底したりして、校内で安全に気を付けて生活する意識をもたせる。 ・避難する際の注意事項について事前指導を行い、訓練後には自分の行動について振り返らせ、アンケートをとる。	・	・	・	・	・	○くらしプロジェクト	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・勤務、メンタルヘルスの研修を実施するとともに働き方改革についての意識向上のために定時退勤日を設定し、常に声掛けを行う。 ・会議や行事等に向けて、見通しを持って業務に取り組むことができるよう進捗状況を確認する。	・	・	・	・	・	○管理職	
●特別支援教育の充実	○支援が必要な児童への適切な支援についての全職員による共通理解と実践	○年2回、職員に対して意識調査を実施し、「特別支援体制が機能している」と回答した教員90%以上	・個別的教育支援計画・指導計画を確実に作成し、前期後期で振り返りをして改善する。 ・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・月1回の児童理解支援会において全職員の共通理解を図り、具体的な支援をする。	・	・	・	・	・	○特別支援教育コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○夢中になって取り組む児童を育成するために、教師の学習指導力と学級経営力の向上を目指す。	①めあてに向かって自分の見通しをもって試行錯誤を楽しむ児童、前向きに学びに向かい成長を実感することができる児童の育成 ②学びを仕組む指導力と児童の実態を見つめ分析したり、実態に応じた学びの環境づくりを工夫したりする学級経営力の向上	①「授業づくりの向上」ICT等を利用した授業づくりへの教員の回答が90%以上 ②「授業中は先生や友だちの話をよく聞いた」パソコンやタブレットを使った学習に、意欲的に取り組むことができた」と回答した児童90%以上	・校内研で教員のニーズにあった研修を計画し、指導力向上を図る。提案授業を実施し、事前、事後研究会を行い、取り組みの成果と課題を共有する。 ・学級の実態や教科の特性に合わせた授業実践や学級づくりを共有する。	・	・	・	・	・	○研究主任	
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育										
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・									